

3/17五
3

まん延防止21日で全面解除

首相 延長18都道府県求めず

岸田文雄首相は16日、記者会見し、18都道府県に適用中の新型コロナウイルス対策の「まん延防止等重点措置」について、21日の期限をもって全面解除する方針を発表しました。態度未定だった大阪府を含め、全都道府県が延長を求めません。

岸田文雄首相は16日、記者会見し、18都道府県に適用中の新型コロナウイルス対策の「まん延防止等重点措置」について、21日の期限をもって全面解除する方針を発表しました。態度未定だった大阪府を含め、全都道府県が延長を求めません。

岸田文雄首相は16日、記者会見し、18都道府県に適用中の新型コロナウイルス対策の「まん延防止等重点措置」について、21日の期限をもって全面解除する方針を発表しました。態度未定だった大阪府を含め、全都道府県が延長を求めません。

感染者が減少傾向にあるのは北海道、青森、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、石川、岐阜、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、香川、熊本の18都道府県。15日現在で大阪など5府県で解除の目安となる病床使用率50%を上回りますが、政府は5割超でも新規

感染者が減少傾向にあるのは北海道、青森、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、石川、岐阜、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、香川、熊本の18都道府県。15日現在で大阪など5府県で解除の目安となる病床使用率50%を上回りますが、政府は5割超でも新規